

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月20日(18:30～19:15)
------------------	-----	------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

1. 初期支援（はじめのかかわり）		メンバー				小田垣・松下・谷口・山本・片山. 松本・片岡・三浦・奥田	
個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）	
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	3人	3人	9人	

前回の改善計画	
職員が各自でケアプランを見て把握したうえで支援する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・職員全員で把握して支援は出来ていなかった。・ケアプランの内容を ・ケアプランの内容の見方を理解出来ていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	6	2		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		7	2		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	8			9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		7	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎日の朝礼、月1回の職員会議、ラインワークス、グループラインを活用して情報共有出来ている。 ・送迎時、家族との会話の中で情報収集出来ている。 ・現場からの御利用者の変化・問題を連携し対応出来ている。 ・午後からの勤務なので、職員に利用者の情報を毎回確認している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者個々のケアプランを把握出来ていない。 ・利用者、御家族の思いや心境に寄り添ってアセスメントする事が出来ていない。 ・ケアプランを閲覧する時間を設けられない為ケアプランの内容をうろ覚えな部分もある。 ・新規の御利用者に対しては、フェイスシート、既往歴など確認をするが、事前に職員間での共有は出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ケアプランを見る事から始めてみる。・ケアプランの見方をCMより聞く	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月20日(18:30～19:15)
------------------	-----	------------------------

2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田
----------------------	------	-----------------------------

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画	ケアマネジャーのプランに沿った目標を明確にし、その目標に近づけるように職員間で支援する
前回の改善計画に対する取り組み結果	・ケアプランに沿った目標が立てられていない。・職員会議の時にCMより情報提供は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3	3	3	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5	1	3	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		5	1	3	9
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		3	3	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 職員会議にケアマネも参加し、情報共有出来ている。 - ケアマネが現場に出向く機会が以前より増えたのでアップデートされた情報を共有出来ている。 - まず御本人にどうしたいかを確認するように心がけている。 - 利用者の声掛けを大切にし「～したい」「～ならできる」など自立の思いをキャッチ出来ている。 - 利用者と会話をする時は、日々の暮らしで思った事など傾聴している。 - 朝のミーティング時に気づいた事を発信出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 他の業務を優先するあまり、ケアプランを閲覧していない。 - ケアプランの把握が出来てなく、利用者の目標がわからないまま支援していた。 「～したい」を実現する為に会話をするが聞き出せない利用者もあり。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランを見る事から始める。	

3. 日常生活の支援

メンバー 小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	3人	9人

前回の改善計画	・職員間で情報を共有し、以前の暮らし10個を文章化した書面を個人ファイルへつづる
前回の改善計画に対する取組み結果	・聞き取りは出来ているが、全員に情報の共有は出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			6	3	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6	2		9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	3		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	1		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7	2		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の会話に耳を傾ける事が出来た、表情や体調の変化も確認しながら、状況に沿った支援が出来た ・利用者のスキルや気持ちに沿ってレクリエーションを提案出来た。 ・外食・昼食作り・野菜栽培・季節に応じた行事を行っている。 ・会話を通し以前の暮らしなどノートの書面化していた。 ・利用者の変化等、ラインワークスで情報共有出来た	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・御本人の思いを理解出来てない。以前の生活状況を聞き出そうとするが、関わる時間が確保しにくい ・御本人の思いを理解出来ていない ・情報共有した事を書き出せていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・聞き取った情報を明確にする為に、ノートに書きだしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年8月20日(18:30～19:15)
------------------	-----	------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM
---------------	------	--------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	3人	3人	9人

前回の改善計画	・小・中学校の資源回収の日程を把握した上で新聞やダンボールを提供し交流していく・文化際の見学に行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・文化祭を見に行く事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	2	4	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	5		9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	3	5		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		2	4	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・御本人、御家族から聞かせて頂く範囲で把握している。 ・習字の先生や、地区のボランティアさんとの交流が出来つつある。 ・天気の良い日は散歩に出かけ、地域の方とコミュニケーションが図れた。 ・施設の様子がわかる様に“えんやだより”を配布している。 ・職員間、本人の会話などの情報から在宅時どの様に過ごされているか伺う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ボランティアの受け入れに変化が見られない。 ・民生委員との関わりが出来ていない。 ・文化祭の縮小もあり、作品出展の機会が減った。見学に行けていない。 ・資源回収品を保管する場所が無い為、定期的に破棄をしていった。まとめて提供する機会はなかった。 ・積極的に関わろうとしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・散歩や、地域のイベントに参加してコミュニケーションを図っていく。	

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	1人	4人	3人	9人

前回の改善計画	・利用者の地域資源の把握と人間関係の把握を行う。・個人に対しての資源を知る。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・地域資源に参加が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			6	3	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	3	2		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	6			9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	5			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・現場との連携は出来ている。 ・利用者の家族の状況にあわせ、急な泊りや、夕食対応、デイサービス時間外に発生した事故などに対しても柔軟な対応がとれている。 ・ラインワークスや朝礼を通して利用者の情報共有は出来ている。 ・近所の方や地域の方の支援、つきあい等、会話を通じて把握出来ている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事務所の都合で対応できない時がある。 ・地域資源の把握が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・家族の情報、本人の事情に合わせて柔軟な支援を提供していく。 ・近所の方や地域の方から会話を通して地域資源の情報を知る。	

6. 連携・協働

メンバー 小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 人	1 人	6 人	9 人

前回の改善計画	地域の情報、活動や、イベントの把握をし、参加出来るものは参加する。 4 月に区長さんに年間行事の予定を尋ね、参加出来る時に参加させて頂けるか尋ねてみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日曜日に行事が集中している事が多く参加出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?		1	1	7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				9	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?			1	8	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			1	8	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること えんやだよりの発行を通じて地域参加できている。・利用者の体調変化により、主治医との連携を図った。 利用者の体調の変化により主治医との連携を図った。・外出をする事で地域との関わりを図った。 サービス担当会議は出来ている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域のイベントに参加できるものがない為、地域行事に参加できていない。 サマーボランティアの受け入れ、小中学生との交流が全くない。・イベントに連れていける人員確保が出来ない。 コロナ禍以降の地域での行事が少なく利用時間外が多い。・地域との関わりが出来ない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の行事の情報を収集して、行事に参加できるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 6 年 8 月 20 日 (18 : 30 ~ 19 : 15)
------------------	-----	--------------------------------------

7. 運営	メンバー	小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM
-------	------	-----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	2 人	4 人	9 人

前回の改善計画	
同地区に居住している職員から情報を得て交流を図っていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・地域で実施されている展示会などに作品物を出展できたが、見に行く機会がなかった。・廃品回収の参加。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		3	3	3	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5		3	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5	1	3	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		3	3	3	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
資源回収や同地区の行事など、職員間の会話のなかで情報提供できている。 地域の作品展、他への参加に向けている。・周囲への騒音には気をつけている。 利用者や家族の要望・苦情についてケアマネに相談し、支援の方法について共有している。 家族からに対しての意見などは真摯に向き合い対応出来る事は実施している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域交流ができない。地域の行事があまりない。・ケアマネとしての地域との交流は出来ていない。 地域の情報が把握できていない。・施設の内情を自身が把握出来ていない部分が多い。 施設の内情を自身が把握出来ていない部分が多い。・前向きな取り組みが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の行事の情報を収集して、行事に参加できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月20日(18:30～19:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	2人	9人

前回の改善計画	
施設内研修に力を入れる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・参加できる研修は実施できた。・研修DVD・資料に目を通して研修内容を共有出来た。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5		2	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	1	2	9
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8		1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ヒヤリハット事故報告を振り返り、再発防止に努めている。 ・社内研修、マネジメント研修、連絡会には参加している。 ・利用者個々のリスクについて、職員会議で検討している ・外部の研修に参加したり、資格取得に向けて学校にも通った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に参加出来ていない。・職場外でのスキルアップの研修に参加出来ていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・案内された研修には積極的に参加していく。 ・研修に参加した職員は、習得した知識や施設で活かせる技術があれば共有させていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年8月20日(18:30～19:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小田垣・松下・谷口・山本・片山・松本・片岡・三浦・奥田 CM

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	人	人	9人

前回の改善計画	
職員同士で声を掛け合って言葉遣いも意識する ・トイレ、入浴時などは、プライバシーに注意する	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・配慮に欠けた言葉遣い(トイレ誘導・名前の呼び方)について注意・指摘をうけた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	1			9
②	虐待は行われていない	7	2			9
③	プライバシーが守られている	3	6			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している			1	8	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、言葉の虐待の研修を受け理解を深めている ・コンプライアンスは注意するように意識している。 ・虐待・プライバシーについて職員で話し合いをしている。 ・利用者の希望を聞いている。 ・言葉使いは常に意識し、職員同士でも気づいた際には注意し合っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度の理解が不十分 ・言葉の虐待に慣れ親しんだ言葉が出てきてしまう。 ・トイレを利用されている時に扉を開けてしまう事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・社会的な信用を損なわない為に、コンプライアンスは常に意識しておく。 ・言葉遣いは丁寧に話すように意識する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 朝来市社会福祉協議会	代表者	会長 伊藤 宣廣	法人・ 事業所 の特徴	法人理念「誰もが安心して暮らせるまちづくり」 事業所は住宅街の一角にあり、アットホームで温かい雰囲気を大切にしています。またご利用者、職員互いに笑顔の絶えない通いを中心に、お一人お一人が生きがいや意欲を持って在宅生活が送れるよう支援します。
事業所名	小規模多機能施設 宅老所 えんや	管理者	施設長 小田垣 栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	4 人	人	1 人	人	人	2 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	施設内で運営推進会議を開催し 施設の状況を見ていただく サービス評価の内容を職員会議 で説明し内容を理解する	えんやで運営推進会議を行うことができた 4 月にサービス評価の内容を職員会議で説明した	毎月行事をされており、自己評価の計画通り取り組める	サービス評価の内容を職員会議で説明し内容を確認していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	季節感のある施設にする 玄関先にご利用者と一緒に花を植える	夏はミニトマト栽培しておいしくいただいた 玄関先に季節感のある花を植えた	玄関先に夏はミニトマトがなっていて、今日はクリスマスバージョンの花があり、いつも季節感があっていいです 玄関入ると季節感のある飾りがされていて感心します	土壌メンテをして、野菜の栽培スペースを確保。季節感のある花々の種類を増やし、寄せ植えを実施する。これらを利用者と一緒になって作り上げていく。
C. 事業所と地域のかかわり	立野地区の年間行事予定をいただく、参加できる行事に参加する 今まで通りえんや便りを配布する	立野地区、木村医院、間島医院、高齢者相談センターへえんや便りを配布した（年 4 回）	いつも大きな声であいさつされ気持ちいいです えんや便りを回覧すると「えんや便り見たで、元気そうやな」と声をかけていただきます コロナ以降、以前のような行事が行われなくなった	ミニデイ・プチサロンへ参加(年 5 回)してパンフレットの配布。顔馴染みの関係性を築く。 えんやだより(年 4 回)の配布先を増やす。くじらプール・あさご図書館追加。 えんやの活動を載せたブログを作成して観る機会を増やしていく

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	施設の周りを散歩し近隣の方と接する機会を増やす	暑い日が多くなかなか散歩に行けなかったが、天気の良い日は散歩に出かけ、道端に咲いている花を持ち帰り飾った	施設を利用されている方が地域行事に参加することは受け入れ側は難しいのではないかと 施設行事で外出、外食に出かけているようで楽しく過ごされていることがわかる なかなか個人情報にネックになり気軽に相談できない	ほっとコミュニケーションの参加をする 朝来地域センターと連携して一緒に訪問しながら、月1回参加出来る様に調整していく。職員が地域に出向く機会を設けていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で話し合った内容や意見を職員会議で話し合う 事故報告、ヒヤリハット報告をし、意見をいただく	運営推進会議で意見等をいただくと職員会議で話し合った	ヒヤリハット報告が少なくなった 運営推進会議を施設内で行われるので、施設の様子がよくわかった	施設内で実施される運営推進会議に毎回異なる職員が1名ずつ出席する。運営推進委員の方々の意見や、当施設の現状報告を聞きながら理解を深めていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	避難訓練実施日を運営推進委員会にお知らせし参加していただく	心肺蘇生、AEDの使用について消防署より講習会を行った	予知できない火災、地震は日ごろから訓練が必要 以前水害（台風）にあっているのので、円山川の水位を見て早めの判断が必要	過去に起きた水害を踏まえて、あさごふれあいの郷あおぞらまでの実際の避難ルートをたどり把握しておく。

